

## 投稿規定

2022.1 改訂

1. 本誌は手術医学に貢献する投稿論文で、他誌に未発表なもの（原著、速報、報告、総説、解説、症例報告、紹介など）および学術集会記録、学会告示、学会報告ならびに業務経過などを掲載する。
2. 著者および共著者は本学会員に限る。総説は原則として編集委員会の依頼によるものとし、その著者は本学会員に限定しない。
3. 原稿は邦文または英文とし（付記1. 参照）、投稿方法はE-mailによる送信とする。
  - 1) 原稿に、投稿原稿チェックリスト（次の頁に掲載）を添付する。
  - 2) 電子媒体として使用するファイルの種類は以下の通りとする。
    - ① 本文・図表の説明は、Microsoft Word で作成する。
    - ② 図表は、Microsoft Word, Microsoft Excel または Microsoft PowerPoint で作成する。
    - ③ 画像は、JPEG, GIF または BMP で作成する。
4. 原稿の採否は編集委員会にて決定する。編集委員会にて査読者の意見が付いたものは、3ヵ月以内に再投稿する。
5. 掲載は受理順とする。速やかに掲載を希望するものは「特別掲載」と明記し、掲載料は別に定める。（付記2. 参照）
6. 原稿は初校を著者校正とし、誤字の訂正程度の1回のみとする。
7. 著作権・版権：本誌に掲載された論文の著作権・版権は、日本手術医学会に帰属する。
8. 論文投稿にあたり、「論文投稿のすすめ」（日本手術医学会誌 2022: 43; 108-111.）を参照する。

### 付記1.（論文の書き方）

1. 表紙に、論文の種類（原著や報告など）、表題、所属、著者名、住所、電話、FAX、E-mail address、キーワード（原著は5語以内、その他は3語以内）、および別刷り希望部数（朱記）を記入する。
2. 原著には要旨として、邦文900字以内と英文500語以内を添付する。英文要旨は、表題、著者名、所属、住所、要旨の順とする。原著以外の論文には、200～600字の邦文要旨を添付する。
3. 邦文原著の場合は要旨、はじめに（目的を含む）、方法、結果、考察、結論、引用文献、図表、英文要旨の順とする。英文論文や他の論文は概ねこれに準ずる。
4. 倫理的配慮：人を対象とする医学系研究は、世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守する。また文部科学省および厚生労働省が提示する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守する。倫理審査委員会等の承認を受けている場合は、その承認番号を記載する。
5. 利益相反：利益相反がある場合は、関係する企業・団体名等を記載する。
6. 図表は、1点あたり邦文400字、英文200語として換算する。
7. 原稿の長さとして、原著と総説は、邦文論文では10,000字以内（図表、文献を含む）、英文論文では5,000語以内（図表、文献を含む）とする。その他の論文は、邦文論文は6,600字以内、英文は3,300語以内とする（図表、文献を含む）。
8. 表題には商品名を用いない。やむを得ず文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、商標名の末尾右肩に®を付ける。
9. 邦文原稿の図表およびその説明は、邦文とする。
10. 引用文献は原則として20編以内とし、引用順に本文の末尾に一括し、バンクーバー形式（Br Med J 1988; 296: 401-405.）で記載する。邦文誌名は省略せず正式名称を用いる。英文誌名はIndex Medicusに従う。著者名が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合は初め3名を記載し、以下は“ほか”、または“et al.”とする。著者のイニシャルの後のピリオドは不要である。引用文献における英文誌名や年、巻、頁の英数文字と句読点は、半角文字を用いる。WEBサイトから引用する際は、URLと参照日（西暦年月日）も記載する。

(例)

- 1) 深澤佳代子, 西村チエ子: 手術室における看護事故の分析. 日本手術医学会誌 1997; 18: 425-428.
- 2) 尾家重治: 消毒・滅菌に必要な器材, 小林寛伊編集, 厚生労働省保健医療局結核感染症課監修. 消毒と滅菌のガイドライン. 東京: へるす出版 1999; 116-126.
- 3) Horan TC, Gaynes RP, Martone WJ, Jarvis WR, Emori TG: CDC definitions of nosocomial surgical site infections 1992: a modification of CDC definitions of surgical wound infections. Infect Control Hosp Epidemiol 1992; 13: 606-608.
- 4) Platt R: Guidelines for perioperative antibiotic prophylaxis. In: Abrutyn E, Goldmann DA, Scheckler WE, eds. Saunders Infection Control Reference Service. Philadelphia: W. B. Saunders Co 1997; 229-234.
- 5) 厚生労働省. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス. <https://www.mhlw.go.jp/content/000769923.pdf> (2021年7月12日閲覧)

#### 付記 2. (掲載料)

1. 規定字数以内は無料とし, 超過分は実費を徴収する (1 頁あたり 12,000 円×頁分)。
2. 写真などカラー印刷を希望する場合はその旨記載し, 費用は別途実費を請求する。
3. 別刷りは有料とする。表紙に必要部数を朱記する。
4. 図表が不鮮明な場合は, 著者の希望がなくてもトレースしその費用は著者へ請求する。
5. 特別掲載料は, 1 頁あたり 15,000 円×頁分とする。

#### 原稿送付先および連絡先:

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル  
株式会社毎日学術フォーラム内  
TEL: 03-6267-4550  
FAX: 03-6267-4555  
E-mail: maf-jaom@mynavi.jp

## 投稿原稿チェックリスト

【各項目を確認してからチェック（✓）し、原稿と一緒に送って下さい。】

- 投稿規定を読み、内容を確認しました。
- 著者・共著者全員が、投稿原稿の内容を確認しました。
- 著者・共著者全員が、本学会会員です。
  
- 表紙に論文の種類（原著や報告など）を記載しました。
- 表題（論文題名）に商品名は用いていません。
- 表題（論文題名）は論文内容を的確に表現しています。
- キーワード（原著5語以内・その他3語以内）は適切に選択しました。
- 字数は、規定の範囲に収めました。
  
- 要旨には、目的・方法・結果・結論を簡略に記載しました。
- 本文は、
  - はじめに（目的を含む）・方法（対象と方法）・結果・考察・結論・引用文献・図表、英文要旨の順に記載しました。
  - はじめに（目的を含む）と方法を明確に記載し、これに対応する結果・考察・結論を記載しました。
  - 統計学的分析を行った場合、検定方法と検定結果を明記しました。
  - 略号を使用する場合は、最初に記載する箇所では、日本語・英語のフルスペルを併記しました。
  - 商品名を記載する場合は、商品名の後ろに上付きで®（registered trademark）を入れました。
  - ページ番号を入れました。
- 引用文献は、
  - 引用順に番号を付けて本文の末尾に列記し、本文中の引用箇所にその番号を挿入しました。
  - 投稿規定で規定・例示されている「形式・雑誌名・著者名の数」に従って記載しました。和文誌は正式名称を用いました。
  - 引用文献の雑誌名、年、巻、頁番号の表記に誤りがないことを確認しました。
- 図表は、
  - 図表は1点ごと1枚に示しました。
  - 図表番号を本文の説明箇所に挿入しました。
  - 図は説明文を図の下に、表は説明文を表の上に記載しました。もしくは図表の説明は別紙に記載しました。
  - 図は、白黒印刷しても分かるように描かれています。
- 患者や被験者を対象とした臨床研究では、倫理的配慮が必要な場合はその旨を、倫理審査委員会等の承認を受けている場合は承認番号を記載しました。
- 利益相反がある場合は、関係する企業・団体名等を本文中に記載しました。
- 再投稿の場合、査読者の「照会事項・意見」に対して、どのように応答したのかが分かるように回答書を付けました。

※ 投稿原稿について連絡事項等がありましたら、ご自由にお書きください。